

「アビスパ福岡ファン・サポーターシンポジウム」議事録()

[アビスパ福岡ファン・サポーターシンポジウム]

日時:2007年12月9日(日)10時~11時半

会場:エルガーラ7階中ホール

出席者:アビスパ福岡株代表取締役都筑興氏、GM兼チーム統括グループ長田部和良氏

常務取締役福本研一氏、社長付渉外担当山田浩一氏、事業部長兼営業推進グループ長内田雄二氏、

まちづくり推進部長伊勢川幸満氏

スポーツライター中倉一志氏、

進行:信川竜太氏

ファン・サポーター約300名

内容:第一部 「2007年シーズンの振り返りと2008年シーズンに向けて」パネルディスカッション

第二部 質疑応答

第二部 質疑応答

信川氏(以下敬称略) これから質疑応答に入ります。ご質問がある方は挙手をお願いします。

サポーターA クラブの関係者への意見と要望です。監督いらっしゃいませんけど、初めに監督に、来年、監督は「J2で勝つ為に戦い方を変えていく、戦術を見直す」ということですが、それでは今年の成績低迷の理由は戦術面の修正不足ということになります。小林氏の指摘通りです。監督は「選手の質が悪いから昇格できなかった」といいましたが、入れ替え戦の広島は福岡とそっくりでした。昨日見てきました。広島には質の良い選手が揃っていますが「監督が駄目だと良い選手を揃えても勝てませんよ」という実例です。小林氏は監督に良い選手を与えても勝てないということを知っていました。会社のお金を無駄遣いに使わなかったということです。

次に社長に申し上げます。社長としての貴方の判断は私たちサポーターにとって就任直後から意味不明なところがあります。(拍手)できればもう少し、言えること言えないことあるかと思えますけど、説明しつつことがコミュニケーションを取る、これは非常に大事なことだと思うます。昨年使える監督を切る、で解約金を発生させる。で新監督を雇う、で当然お金が、聞き及ぶところによると億単位のお金、色んな補強等も合わせて、お金が発生したと耳にしております。財政状態がひっ迫しているクラブの経営者が行うべきことではなかった、と思います。昨年、1億という損失を出し、来年のユニフォームスポンサー、胸スポですね、スポンサーが無くなるという、クラブの経営者として私たちサポーターは理解を得ることができません。小林さんは大分をJ1に昇格させたという実績がある人です。何故、彼を次の監督にしなかったのですか？これをすれば経費節約にもなったと思います。付け加えて、選手を移籍で獲得するというのは、資金が潤沢にあるクラブがすることです。社長は昨年、監督は横浜FCでの経験を生かせず今年また失敗致しました。社長と監督は次のチャンスはありません。これ以上いてもらうとクラブが消滅しますと思います。それがサポーターの思いです。最後に、ご出席頂いてるかわからないのですが、都筑氏を承認し、このクラブに送り込んだ役員会の方、役員会、経営者としての都筑氏に正当な評価を下すことを願いたいと思います。このクラブがいつまでも変わらない理由は持ち回りの社長人事、出向社員の寄せ集め体制です。お金と人材というのはセットでいきます。お金を出して下さっているスポンサー、出資者の方々をお願いします。クラブが12年間抱えている問題を解決して下さい。サッカーを愛してる有能な人材をクラブに送り込んでください。有能な経営者と人材が必要だと思っています。以上です。(拍手)

信川 今の、ご意見ということで、質問でなくて大丈夫でしょうか？はい、それでは、次の方。

サポーターB 今の方とダブるんですけど、早い話がリトバルスキー監督には続投反対ということです。試合の談話をそれぞれ聞いた訳ではないんですけど、高いFWが欲しいとか、裏に走り抜けるFWが欲しいとか、ようするに言い訳ばかりするんですよね。だから、福岡だったら速いのは佑昌で、高いのは長谷川を取ったんじゃないかと。私はそう思うので、ようするにトップに立つ人間に資質が無いと言いたいんですよ。全部の責任は自分にある、という潔さが他のJの監督はあると思うけど、ない。そういう人を続投させる都筑さん

は、ようするに社長の資質がない人が社長になっている、ということで。色々問題が出るのは全て自分が悪いという資質がないと「誰々がどうで、小林さんがどうだ」と。私は小林さんが山形に行って光平やら恭平をスカウトして頑張ってる欲しいと、今思っています。で田部さんのGMなんですけど。失礼ですけど、リトバルスキーさんと横浜FC時代のコンビですよ。違いませんか？(田部氏「そうです」とうなづく)あのJ2の時代の横浜FC時代のコンビですよ。それがどう考えても、僕の目には来年J1に上げられるような強いチームになれるとは思わないんですよ。何が欲しい、カニが欲しいというのは、J2でお金のないチームがそういうことを言える状況にないんですよ。」で落ちた時、大阪で万博で悔しい思いをした時に「若手を育ててやって行こう」と松田さんが一生懸命やってきて、川勝さんも一生懸命やってこられて、でリトバルスキーも、結果論になるんですけどもっと潔さを見せて欲しいと思うんです。小林さんが本当に良いこと言ったように、この私が、強いチームに全く勝てずに勝つのは弱いところばかりです。本当に夢がなく、会社から「お前なんでいかにとや」とホント言われる位女子従業員からも笑われています。もう異常なんです。私は絶対行くんですけど、行かない、と。夢が本当はないんです、今のチームに。残った人も割りとロートルとか年寄りが多くて、戦術のことはわかりませんが、私はそれをどうしても言いたくて、やって来ました。それともう一つ、長くなって申し訳ないんですけど、アビスパの激しいサッカーと、汚いサッカーと、中倉さん仰った通りのことなんですけど、無駄な反則が多すぎる。自分、応援しながら、反則をアレックスも多かったし、久藤やら布部やら、そして審判に文句を言う。そしてイエローをもらう。そして退場になる。全部悪循環ですよ。もっと綺麗なサッカーも、田部さんもリトバルスキーに言って欲しいです。もちろん勝ち負けもあるでしょうけど、そういうことを田部さんにやって欲しい、それと田部さんが言われたパッションの意味は何の意味かを教えて下さい。ちょっと私にはわかりませんが、

信川 パッションの意味、(田部氏に)よろしいでしょうか。

田部 先ほど仰られた激しいサッカーと汚いサッカーという風に、まず一つ、えーとあの意味のないファウルというのが多いと思います。例えば、細かい話になっちゃいますが、FWがボールを持っているところを後ろから押せば全く意味のないファウルとなって、FKが増えるだけ、ということになっちゃう。ただ激しいボディコンタクトに強く行くというのは激しいんで、その激しい部分と意味のないファウルというのは、やはり履き違えるべきではない、というのは仰る通りだと思います。

それから審判に文句というのは、正直いって審判の判定について疑いを持つというのは僕もあります。けれども、一回下った判定はくつがえらないし、文句言っても意味は無いというのは確か。そういったイエローは意味がない、ゲームの中でファウルをするつもりじゃなくても激しいプレーになってイエローが出てしまうというのは許せるイエロー。でも判定に対する抗議によってもたらすイエローというのは、チームにとって最終的にマイナスになるイエローとなるということは、やはりチームの中の共通理解としていかないといけないと思います。

それからパッションという言葉を使いましたが、それは情熱といいますかね、熱い気持ちを持ちましょうと、そういった意味です。

サポーターC どうも、今日はありがとうございます。先ほど、社長とかに最初の方が言われたんですけども、ま、ぶっちゃけ12年間見てきて、チームの中に色々な問題があるというのは色々な人から聞いています。一つはチームの中で、出資して下さってる会社とかから来ている出向社員の方とか、そういう人たちはサラリーマンをやっているという風なことを前に聞いたことがあるんですね。というのはたぶん、こういうプロサッカーとかスポーツに関わる部分というのは、自分がやってうまくいかないというのがありますけど、成功した時に喜びが帰ってくる事業だと思います。例えば浦和レッズなんかでも、三菱とかから出向してる人は一杯いると思うんですけども、彼らが頑張ってるチームが強くなって、喜びがそういう人たちにも生まれてくる。多分、そういううまく循環が生まれれば、チームというのは強くなると思うんですね。たぶんアビスパの場合は、一人ひとりがこんなチームにしたいと思ってる社員たちが、頑張らなかつた部分がたぶん色々な部分で表に出てくる。先ほど言われた方が、たぶん色々な人から、チーム関係者から話を聞いてると思うんですけども、チーム関係者の中でも、本人は良いと思って言ってるかも知れないけれども、プロとしてのチームとして本当にそれが正しいかどうか、という部分で違う部分があると思うんですね。

さっき社長と田部さんが説明されたように、チームは新しい一歩を踏み出そうとしています。それでそこに、後ろ向きで「駄目だ」と言うのは簡単です。これは誰でも言えます。でも、そこを本当にここを最後と思って、

一回信じてみませんか？皆さん、で、これで本当に裏切られたら僕は本当に行動を起こせばいいわけで、今ここで前向きになろうとしてるみんなを、芽をツブすというようなことを、僕したくないんですよ。で、それは首になった選手もそうですけど、中倉さんが言われたように、このチームの戦術や考え方、戦術の理解度が足りなかったから首になったのと、あとチーム構成ですね。それで首になっただけで、その選手が悪いわけではなくプロとしてなれないというわけではなくて、うちとしては来年構想外になっただけで、これはどのチームでもやっています。浦和だってそうだし、チームを愛してる選手でも来年のチーム戦術に合わなければ切りますし。

監督が、チーム戦術を変えなくて今年成績が悪かった、といいますけど、第1クールのあのサッカーは、僕正直言って楽しかったです。確かにDFの部分で不安定なところがありましたので、そこは改善が必要かなと思ってましたけれども、ただあれだけ選手が入れ替わって、ポジションを変えて、ボールをキープしながら前へ持ってって、相手のスキを突くというサッカーは結構好きでした。で、それがうまく行かなくなって、やっぱり色んな悪い部分が出てきて、その部分をみんなのせいと文句は言ってますけど。じゃああの第1クールのあのサッカーで、例えばDFが安定して、本当に良い成績を収めたら、皆さん監督のことをどう言ったかなと、ちょっと疑問に思います。

で、小林さんとリティの切る順番が逆じゃないかという意見がありますけれども、もしそういうこと言うんだったら全員退場だと思います。社長も監督も強化部長も、みんな首だと思います。今年に限っていうなら、でも、社長というのは辞めることが責任を取るのではないと思います。社長というのは犯した間違いをもう一回正すために全力投球することが社長の仕事だと思っています。これは質問ではないんですけど、田部さんにお聞きしたいんですけども、田部さんはGMとしてチーム全体を見られるんですけども、先ほどリトバルスキーと横浜時代に一緒だったということで、とにかく来年ですね、監督の意向に沿った選手をピックアップしてきてそれなりにチームを作って、監督の新しい改良した戦術で結果が出なかった場合、リトバルスキー監督を解任する覚悟はおありですか？(拍手)

田部 サッカーの世界ですので、全てのことがあり得ると、ハッキリいいます。

サポーターD 皆さん意見ばかりで、質問させていただきたいんですけど、端的に申し上げて、社長は、中長期視点、中長期的ビジョンと常に仰ってますが、中長期的に何を指すのかを全くサポーターは知らされておられません。中長期的に何を指すのか、その為に短期的にそれぞれのポジションの方にどういうものを求めるのか、そこをハッキリとお聞きしたいと思います。

都筑 えーっと、先ほどからですね、クラブの職員、社長以下ですね失格であると、随分厳しいご批判を頂いております。私どもは先ほど言われたように、サラリーマンの気持ちで来てるという気持ちは全くありません。ですけど、そう思われてもしょうがないという場面もたぶんあると、いう風に思います。それはまあさておきですね、中長期的というのはですね、申し訳ないんですけども、過去ですね、場当たり人事があったんじゃないかなという風に思います。先ほども言われてましたね、金がかからないからこうすれば(小林解任のことか？ = 編集者)良かったと、私はそうは思いません。あの、契約をちゃんとしてるわけですから、「これが駄目なんだから、じゃああなたはこうなりなさい」と、これこそ場当たり人事です。そういうことしたらクラブは腐っていきます。ですから、とにかく前へ進むと、前へ進むということはですね、大変キツイことだと思います。たぶん皆さんそういうことはおわかりだと思います。黙ってその場に立ち止まるのが一番楽です。だけどたぶんその組織は腐っていくと思います。ですから私は、皆さんから今ご指摘ございましたけれど、「間違いであった」と言われても、私は進まなくてはならないと、で、間違いは正さなくちゃいけない。ですから、その繰り返しで、いつかはアビスパ福岡の栄光を掴む時が来るという風に信じています。是非そういう風に信じて頂きたいと思います。

それともう一つちょっと気になるのは、先ほど、金を出してくれてる人たちが何とかして下さいという発言がございましたけれども、それは止めて欲しいですね、自分たちでしましょよ。誰も助けてくれないですよ。私も誰も今助けてはくれないです。私どもクラブ関係者はもちろんですけども、サポーターの皆さんも是非そういう気持ちになって頂きたいと、金の成る木があるわけではありません。誰かが助けてくれるというわけでもありません。全部自分たちでやっていきたいと思っておりますので、是非ご支援のほどを宜しくお願いしたいと思います。(答えになってない、具体性がないよ、何を指すのか、と聞いている。ちょっと待て！等の声)

信川 静かに願います。(怒号を制しながら)社長、あの中長期ビジョンの中の育成のとこだけ願います。

都筑 えー例えばですね、今、育成部門というお話してございますけれど、育成の部門を過去12年間、色々と過去の方がやってきて頂いたとは思いますが、実績的には出てきてないんですね。これは皆さんもご理解頂けると思います。ですからこれを、一つの例でございませぬけれども、育成部門を充実拡大していきたいということでやっています。これは1年2年で、先ほど申しました通りに結果は見えませぬ。たぶん5年先位になると思うんです。ですがそれをとにかく歯を食いしばってでもやっつけていこうということでございませぬので、これは具体的には育成センターを作るとかそういうことじゃありません。やっぱりコーチの、あるいはスタッフの、あるいは我々フロントの、全員の気持ちがそういう風な気持ちになったときに初めて実現するという風に思います。形で見えないと思はれますけれども、たぶん皆さんがユースの試合とか練習とか見に来られたときに少しづつわかっていただけるかなと、そういう風に思います。(…まったく意味不明な答え)

田部 クラブ内の選手育成ということですが、例えば、日本で、もちろん育成を大事にしないといけないうのが前提にあると思うんですが、その中で例えば育成で成功しているクラブって、随分前のヴェルディ、少し前のジェフ、ガンバ、サンフレッチェぐらいしかリーグの中では逆にいうと育成で成功してる例ってないんですね。で、どこのクラブでも育成に対する意識は非常にできて、お金も人もつぎ込んで、けどなかなか簡単に成果につながるものじゃない。例えば神奈川県では一番うまい小学生はみんなマリノスに入るんだけど、マリノスのユース出身の選手はほとんどいないと、というのが現状なんです。それほど難しいものなんです。だからやらないじゃなくて、だからやっつけていくんですが、やはり何ていいますかね、色んなことをやっていかなきゃなかなか結果は出ないと。世界で一番選手の育成に優れているのはフランスだと言う評価があります。僕がいたフランスでも色んなクラブが本当に時間とお金と、トップチームより良いロッカールームとかをもってるそういう育成のクラブもあるんですけど、それでもやはり結果は出ない。結果は出ないけれども、競い合うというのをやっています。そういったことは福岡でもやっつけていきたいですし、ま、申し上げたいのは育成についてもクラブで中長期的な方向を目指してやっつけていくんだけど、そう簡単に結果は出ない、だからこそ皆さんの力も借りながら、知恵も借りながらやっつけていきたいという前向きな気持ちです。

サポーターE チームの運営面に関して一つ意見があるのと、営業に関して一つご質問があります。

まず運営面に関して、例えばマリノスとかは株主に公開する資料とかはPDFでweb上で流したりして、問題意識と一緒にサポーターと共有したところとつなぎとめてるところがあると、例えばベガルタさんであれば「3年待ってくれ」と具体的に年数を提示することでやる気になってくる。

毎年、来年昇格、来年昇格と言われても、正直、具体性を持ってないとサポーターとしては一緒に戦えないという部分ってというのがあると思うんですよね。そこをちゃんと見せて欲しいなと、具体的に文章としてwebに公開するなり、ちゃんともっと表に出すというのをやって欲しいなというのがあります。

次に営業面での質問です。一昨年に、「旗いっぱい運動」というのをされたと思うんですよね。それが今年になったら特に何も動きが無かったように見えるんですけど、そういったところも1年で終わるんじゃなくて、中長期的ということであれば、長くやっつけていくことによっていっぱい旗が町なかに行けると思うんですよね。そういったことをやっていかなきゃいけないと思うんです。そこらへんについて動きがあるのであれば教えて欲しいと思います。

都筑 えーと、運営ということでございませぬけれども、確かにおっしゃる通りだと思います。私どもの発信がほんとは少ないと思っております。これは去年も同じようなことをたくさんの方から言われて、是非ですね、うちで発信をするようにと申し上げておりますけれども、なかなかまだ実行に移せておりませぬ。あえて難しい話でないのに、進んでないというのが現実です。それで、今年はずぐさせて頂きます。それはもうそういう準備をしていますので、よろしく願います。それと、旗いっぱい運動の件ですけれども、去年から取り組んでいた伊勢川さんをお願いします。

伊勢川 旗いっぱい運動についてご説明します。一昨年、千数百本、市内の商店街に掲げて頂きました。それは皆さんもすぐ目に付いたかと思はれます。事業の継続については今年度の当初、社内で役員と色々話し合いました。昨年の問題点もございませぬ。旗を千数百本掲げても、実は持つのが数ヶ月という問題がございませぬ。折角掲げて頂いてもなかなか持たない、メンテナンスができない、それから買って頂くにも、かなりお願いして買って頂いております。なかなかそれが継続していかない、という部分もございませぬ。役員の方からも旗が街にたなびくのはすごく良いことだし、なんとかならないか、素材を工夫できないかと、色んなことを検討して参りました。ただJ1からJ2に落ちて、会社の経費が厳しかったのも事実でして、止むを得ず今

年はいくつかの商店街とか、博多の森に限定して行いました。やれる範囲でやるという形です。クラブとして、のぼりやバナーが博多の街に“たなびいて”アビスパが盛り上がる雰囲気がある町の中にあるというのは今後も目指して生きていますけれども、やはり多くの方が買って頂いて、自分でメンテナンスしたり、浦和レッズが試合の日になると、色んなところが祭日に日の丸を掲げるように、レッズの旗をたなびかせるという話を聞いています。目指すところはそういったところだと思いますけれども、今クラブの現状として旗いっぱい運動を大きくやるというのはかなり厳しいところがございます、来年もまったく無くすわけではございませんけれども、しばらくは目標としてはありますけれども、現状のようなカタチになってしまうかなという風に考えております。以上です。

信川 今のふたつはリンクしてましたね。今みたいなことを公開していただければ「なるほどそうなんだ」と。じゃあボクらはもうちょっとこういう協力をしないとイケないんだというのがわかると、思うように思うんですね。(拍手)

サポーターF 来季の補強についてのご質問なんですけれども、今残っている選手と同等の力を持っている選手、もしくはそれ以上の選手取りたいと仰られたと思うんですけれども、それと「アビスパ福岡はお金がない」というのは矛盾していると思います。やっぱり良い選手はどうしても、よそのチームは出したがらないと思いますし争奪戦になると思います。お金もかかると思います。その場合どう考えていらっしゃるのでしょうか。例年以上の借金をしても仕方ないと考えているのか、それとも予算の範囲以内である程度妥協を考えているのか、それをちょっとお聞かせ願いたいと思います。

それともう一点、来季の戦力として古賀誠史選手をどう考えていらっしゃるのか。あとこれは要望なんですけれども、一番の戦力として、今年戦力外になった選手、正直J2でも活躍できる選手だと思いますので、そういう選手と再契約というのもお願いしたいと思います。難しいと思いますけれども。(この日一番の大きな拍手)

田部 じゃあまず、誠史については来季の戦力にぼくらはカウントしています。というのが現状です。ただ、彼は神戸で活躍してしまっているので、そういうことはつまり戦力であると証明できていると思うので、その辺は選手の意思、それから今いる神戸の意志、それからうちのクラブの意思ということの調整になるのだと思います。僕らとしては、来季サイドからの攻撃をしたいと思っていますので、先ほどの来季どういうことなんですか、という答えに繋がるとは思います。アレックスがいなくてという現状があるので、若干攻撃のスタイルを変えていかなくてははいけない、そんな中で、サイドからの攻撃をもう少し増やしたいという中で誠史のクロスというのは非常に武器になると思っています。それから今季契約をしなかった選手のことは、今後戦力の編成をする中でまたそういったことが生まれれば、サッカーの世界では何が起きるかはわからないので、全ての可能性はすべてある、というのがサッカーだと思っていますから、色んなことが起きるかなと思っています。それからお金の面についてですけれども、現状、来季の予算というのは確定していませんけれども、今季以上にふんだんな予算はないということは十分にわかっていますので、現在の範囲以内でできる移籍を考えています。色んなやり方があるという風に考えています。

サポーターG お金の無駄遣いについてなんですけれども、今年はホベルト選手や金古聖司選手を契約更新したのに、すぐに解雇した、契約解除したことについてなんですけれども、お金ちよっともったいないと思うんですよ。あともう一つ質問があるんですけれども、具体的にどういう風な補強をしていこうかな、どういう風な選手を取っていこうかなと。あともう一つはスポンサーなんですけれども、地元とは限らずに東京とか大都市からもとってくる必要があると思うんですよ。

田部 僕いなかったんで、正確じゃないかも知れませんが、金古については移籍という形で契約解除をして他チームへ移籍をして、売ったということですから収入が入ってるはずですから。(これはない！田部氏の認識違い) それとホベルトは、契約解除というカタチで構想に合わないという形での解除という風に僕は了解しています。(事情を知らない田部氏が勝手に“了解”しても、サポーターはまったく了解してない。)

それから、先ほど申し上げたと思いますが、リーダーシップがある選手、それからセンターラインで怒鳴れるというか、リーダーシップがある選手で非常にパーソナリティが強い選手が欲しいと思っています。それからスポンサーは、当然福岡だけでなく東京の方からも探すということで全社的に動いています。

サポーターH 先ほど、中倉さんからクラブのレスpektという話があったんですけど、私はよくサガン鳥栖の練習を見に行くんですけど、その度にサガン鳥栖は背広を着た選手が練習の終わりに必ず出てこら

れて「今日はありがとうございました！」という言葉がかけられるんですよ。私はアビスパの練習を何十回行っても1回もないんですよ。(笑) そういうですね、姿勢というのが経営の半分のクラブに1勝3敗というのに如実に現れるんですよ。そういうサポーターが不安があるというのは、クラブのリスペクトの姿勢がない分ですね、不満が募る一つの原因だと思います。あと練習についてもそうなんですけれども、サガン鳥栖の選手はですね、必ずサポーターの近くで練習やってるんですよ。選手も近くで見られて変なことではできないと思うんですよ。そういう一つひとつの小さな積み重ねがサポーターの不満になっていくし、スポンサーが逃げていく原因にもなっていると思うんで、プロスポーツを運営するということで、やってやるんじゃなくて、「やらせて頂く」という気持ちが伝わってこないから、それだけの不満が起きてきているのもあるんですよ。(拍手) 来年は必ずいいチームになってJ1へ上がれると信じていますので、サポーターの期待を裏切らないで、来年は必ずこのような会見でなくて、J1昇格の会見をしていただくように強く要望します。以上です。

信川 ありがとうございます。これで質疑を終わらせていただきます。色んな意見が出ましたけど、中倉さん、
中倉 そうですね、これから結果を出すのはとって時間がかかるでしょうし、あるいはJ1昇格も1年待たないといけなわけですけども、それよりもまずはクラブの方をお願いしたいのは、何かあの今の決意を、どんなことでもいいから形に行動に現して欲しいと思います。変な話ですけども、天神の街中にポスター1枚もないんで、ポスター1枚あるだけでも違うんで、僕は本社の歩いて2、3分のところに住んでいるんですけども、ジャスコにすらポスターがない。
今すぐできることと、時間をかけてやらなければいけないことがあるけれども、今、サポーターの皆さんは色んなことを思って、色んなことを悩んで、文句言ってる人も建設的なことをいってる人も、みんな同じように悩んでると思うんですよ。ですから、みんなが来年、福岡をまた思い切り応援できるように、小さなことでもいいんで、できることからすぐに行動に表して、今なんとかしようとしてるよということをみんなに見せてもらいたいし、それで、「じゃあ俺たちも」という気持ちになると思うんで、そのところを是非お願いしたいと思います。(拍手)

信川 最後になりましたが、色んな人の意見を聞いて、社長、ひとことお願いします。
都筑 どうも、今日はありがとうございます。たくさんの方がお集まり頂きまして、また色んな意見を聞かせて頂きました。厳しい意見もございましたけれども、逆にわたしどもの気持ちも理解して頂いてるかなという風に私は信じております。で、とにかく先ほど申しましたように、止まったら終わりです。絶対進んでいきますので、その途中で、経過で色んなことを言われて結構です。私もスタジアムを回っておりますので、その時に声掛けて頂いてですね、色んな意見、あるいは文句も結構です。是非お知らせいただきたいという風に思いますけれども、とにかく前に向かって進んでいきます。わたしどもも厳しくいわれましたけれども、そこんとこ変わっていきますので、どっかで信じて頂いて、支えて頂きたいという風に思いますので、どうぞ来季もよろしくご支援をお願いしたいと思います。

信川 これをもちまして、シンポジウム終了とさせていただきます。
これからより多くの方々が誇れるチームになりますように、フロント、監督一丸となってやってまいりますので、また皆さんのご意見をこのような形で聞かせて頂ければという風に思います。

本日はお忙しいなかをどうもありがとうございました。